非常通報装置取扱説明書 【110番(警察)への通報】

非常事態とは⇒強盗など凶悪事件が発生し、**電話で110番出来ない状態です。**

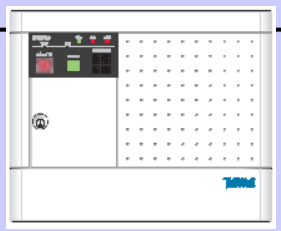
設置者側 ― 110番通信指令室側

①110番押ボタン押下
アクリル板を強く押す

②発報確認ランプ確認点灯(赤色)

③110番自動通報

非常通報装置



NTT電話網

110番指令室

④ 逆信(呼び返し)

※110番ボタンを押し指令室との応答確認まで約30秒～1分程度です。

⑤発報確認ランプ点灯(緑色)

＊赤色から緑色に変わります。

※非常通報装置からの通報内容を確認した段階で緊急配備が発動されます。

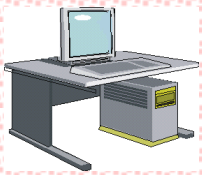
⑥受理用電話機鳴動

受話器を取って状況を説明してください。

⑦保守センタ監視、復旧処理

NTT電話網

テルウェル保守センタ



＜ 説 明 事 項 ＞

★発 報

① 指でアクリル板を壊し、発報確認ランプの(赤色)が点灯するまで、押して下さい。

② 発報確認ランプの赤色が点灯すると非常通報装置が接続電話回線を通し110番へ自動通報します。

※電話回線が話中でも強制切断し110番へ優先通報します。

③ 110番を自動ダイヤルし、110番指令室が応答すると、予め録音されたメッセージを送します。

～110番通報メッセージ内容～

非常通報 非常通報
神戸市長田区一番町2丁目4番地
神戸市立医療センター 西市民病院
ﾋﾟﾝﾎﾟﾝﾊﾟﾝ 逆信してください。

④ 110番指令室は、通報ﾒｯｾｰｼﾞ内容を確認後に逆信信号を送ります。

※同時に現場へパトカー等の出動手配がされます。

★応答確認

⑤ 逆信信号により発報確認ランプの(赤色)が消え(緑色)が点灯します。

⑥ 110番指令室からの逆信により受理用電話機のベルが鳴動しますので、応答して下さい。

【受理用電話機の取扱方法】

■犯人が近くにいて危険な場合
・そのままにして応答しない。
・スキを見て受話器を外します。(現場の状況が指令室に受話器を通して聞こえます。)
・受話器を取り上げた場合は、「取り込んでますから後にして下さい」等と答え可能な限り受話器を外しておく。

■犯人が逃亡した後、あるいは近くに居ない場合は、「長田区の西市民病院です。病院職員への暴行事件です。犯人は男一人です」など被疑者の人相・着衣等の特徴を簡潔に応答してください。

保守センタ監視

⑦ 非常通報装置本体から発報・異常等のデータを受信すると、状況確認又は復旧処理に保守者を派遣します。